別添１

提案書作成上の注意

*１．提案書は、次頁以下の記載例に従って記入してください。*

*（青色斜字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください）*

*２．用紙は、Ａ４判を利用し、左とじにしてください。*

*３．提案書は、すべて両面印刷とし、８部（正１部、副７部）を提出してください。*

*４．提案書の下中央にページを入れてください。*

*５．各部ごとに左上をダブルクリップ等容易に外れない方法で留めてください。*

*（ステープラー留めや製本は行わないでください）。*

*（提案書記載例）*

[表　紙]

「国際研究開発／コファンド事業 ／日本－ドイツ研究開発協力事業(CORNET)」に対する提案書

研究開発テーマ

「*○○○○○*の研究開発」

*（共同提案の場合は、本頁以下の提案書の項目を併記してください。各機関の印として、法人等の印と代表者（代表取締役等ＮＥＤＯとの契約権限を有する者）の印の両方が必要ですのでご注意ください。青色斜字の個所は削除して提案書を完成させてください。）*

*※単独提案とは、単独の日本企業が提案することを指します。共同提案とは、複数の日本企業等（大学、研究機関含む）が連名で提案することを指します。*

番　　号

*（社内文書番号がある場合は記入してください。ない場合は記入しないでください。）*

 　　2019年*○○*月*○○*日

*（提出日を記載してください）*

企業名　　*○○○○○　　　　　　　　　　　　　　印*

法人番号　*○○○○○*

代表者名　*役職名　○○　○○　　　　　　　　　　印（又はサイン）*

所在地　　*○○県○○市・・・・・　　（郵便番号○○○－○○○○）*

*（提案全体に対する代表連絡先を記載してください。本公募に係る諸連絡は、本欄記載の方にのみに対して行いますので、必要に応じて関係者に周知してください。）*

連絡先　　所　属　*○○○部　△△△課*

　　　　　役職名　*○○○○○*

　　　　　氏　名　*○○　○○*

　　　　　所在地　*○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）*

　　　　　　　　　*※　連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載*

　　　　　ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　内線　△△△△*

　　　　　ＦＡＸ　*△△△△－△△－△△△△*

　　　　　e-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\**

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radにおける研究機関コード（１０桁） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

[要約版]

研究開発助成事業提案書［要約版］

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発プロジェクトの名称 | 「国際研究開発／コファンド事業 ／日本－ドイツ研究開発協力事業(CORNET)」 |
| 研究開発テーマ名 | 「*○○○○○*の研究開発」*（英名も記載）* |
| 提案方式 | 単独提案・共同提案*（いずれかに○。なお、共同提案とは、複数の日本企業等（大学、研究機関含む）が連名で提案することを指します。）* |
| １．研究開発の概要 | *本提案書１．の内容を数行程度で簡潔に記載してください。* |
| ２．研究開発体制 | *（例）**日本側：●●株式会社**・○○○○○の研究開発**◆◆大学**・◇◇◇◇◇の研究開発**相手国側：■■株式会社**・□□□□□の研究開発**▲▲大学**・△△△△△の研究開発**（日本側と相手国側の参画者名を記載し、それぞれの役割分担を簡潔に記載してください。）* |
| ３．研究期間及び予算規模 | 研究期間：*２０１９年●月～２０●●年●月まで*予算規模：*２０１９年度：●●●百万円**２０２０年度：●●●百万円*総額：　*●●●百万円（内NEDO負担額●●●百万円）* |
| ４．連絡先*提案書表紙の連絡先と同一のこと* | 所　属　 *○○○部　△△△課*役職名　*○○○○○*氏　名　*○○　○○*所在地　*○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）*ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　内線　△△△△*ＦＡＸ　*△△△△－△△－△△△△*e-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\** |

*（注）要約版は必ず１枚以内にまとめてください。必要に応じて図表等を添付してください。*

[本文]

研究開発プロジェクト名

「国際研究開発／コファンド事業／日本－ドイツ研究開発協力事業(CORNET)」

研究開発テーマ　「*○○○○○*の研究開発」（英文名「*○○○○○○*」）

１．研究開発の内容、研究計画・目標

１－１．研究開発の内容

（１）本提案の全体概要・背景

*提案する研究開発の全体概要について具体的にわかりやすく説明してください。（記載に際しては適宜図表・イメージ等を用いてください。）また、提案内容の背景についても説明してください。*

（２）適用技術の概要

　*適用技術の概要について、具体的にわかりやすく説明してください。（記載に際しては適宜図表・イメージ等を用いてください。）特に提案する共同研究開発内容の新規性及び技術的優位性について具体的に説明してください。*

　*実施機関については、共同提案の場合はそれぞれの機関の役割分担を明確に記載してください。*

*委託先又は共同実施先の実施内容があれば、それぞれの役割分担を明確に説明してください。*

*例えば、役割分担を記載する場合には、下記事例のように、研究内容の後に分担企業等を付記して頂くのも一つの方法です。*

*（記載例）*

　①「○○○○○の研究開発（△△△△△の研究開発）」　（○○株式会社）

［研　究　開　発　の　内　容］

　②「×××××の研究開発（□□□□□の研究開発）」　（□□株式会社）

［研　究　開　発　の　内　容］

１－２．研究開発の目標・計画

　（１）研究開発目標

*提案内容の研究開発目標（例：製品の開発等）を具体的かつ、定量的に記入してください（「△△△△が可能なこと。」、「○○○○式であること。」、「△△△△については○○以上であること。」、「○○個以上について△△する。」、その他、可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載）。また、その設定理由についても併せて説明してください。*

（２）研究開発計画

　 ① 研究開発予算と研究員の年度展開

*それぞれの研究開発項目をどのような手順で行い、どの程度の経費が必要であるか以下のような一覧表にまとめてください。共同提案の場合、各社毎に提案された研究開発分担項目及び必要経費を分けて記入してください。*

*（例　示）*

受託者

単位：百万円

（　）内は人数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当 | ２０１９年度*＊＊＊**（＊人）**＊＊＊**（＊人）**＊＊＊**（＊人*） | ２０２０年度 | 計 |
| 1. *○○○○の研究開発*

*１－１．○○○○の調査**１－２．○○○○の開発**２．△△△△の研究開発**２－１．××××の研究* | *○○（株）**△△（株）**□□大学（委託*） | 　 | 　*＊＊＊**（＊人）* | 　*＊＊＊**（＊人）**＊＊＊**（＊人）**＊＊＊**（＊人）* |
| 合　　計 |  | ＊＊＊（＊人） | *＊＊＊**（＊人）* |  |

 *(注1)　研究計画スケジュールを表す線の上の（　）内に、その年度に投入される研究員の人数（工数ではなく、従事人数）を記入してください。*

*(注2)　研究開発費はＮＥＤＯおよび提案者の負担分を含めた総額を記載してください。ただし、消費税および地方消費税額は含めないでください。*

　②　研究開発計画の詳細

　*各年度の研究開発項目について、簡潔に説明してください。*

　③　予算の概算（総括表）

*（共同提案の場合、提案者ごとに記載し、更に総括表を作成してください。）*

研究開発全期間における助成事業の総費用　　　　 　円***（Ａ）と同額***

研究開発全期間における助成金交付申請額の総計　　　　円***（Ｂ）と同額***

（補助率　○/○）

*○○○○○*株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 費　　目 | 金　　額 |
| 収入 | Ⅰ．自己資金 |  |
| Ⅱ．借入金 |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |
| （小計） |  |
| Ⅳ．助成金交付申請額 | ***（Ｂ）*** |
| 合計 | ***（Ａ）*** |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 費　　目 | 金　　額 | 助成金交付申請額 |
| 支出 | Ⅰ．機械装置等費 |  | ※ |
| 1. 土木・建築工事費 |  |  |
| 　2. 機械装置等購入費 |  |
| 　3. 保守・改造修理費 |  |
| Ⅱ．労務費 |  | ※ |
|  1. 研究員費 |  |  |
| 　2. 補助員費 |  |
| Ⅲ．その他の経費 |  | ※ |
| 　1. 消耗品費 |  |  |
| 　2. 旅費 |  |
| 　3. 外注費 |  |
| 　4. 諸経費 |  |
| IV．委託費・共同研究費 |  |  |
| 　1. 委託費・共同研究費 |  | ※ |
| 　2. 学術機関等に対する共同研究費 |  | *事業期間の総計額は、定額助成以内の金額* |
| 合計 | ***（Ａ）*** | ***（Ｂ）*** |

*※左記の額の補助率3分の2又は2分の1以内とし、千円未満の端数は、切り捨てること。*

*なお企業規模に応じて、補助率が変わりますので、詳しくは公募要領４．（５）補助率をご確認ください。*

*（注）*

*1. 「事業期間」における助成事業に要する総費用及び調達額を費目ごとに記載すること。*

*2. 助成金交付申請額については、千円未満の端数は、切り捨てること。*

*3. 支出については、別紙1様式による積算内訳を添付すること。*

　④　予算の概算（年度毎の積算表）（別紙1）

　　*別紙1のフォーマットに従って年度毎の積算表を作成してください（提案企業毎）。*

*（別紙１－１は中小・ベンチャー企業用、別紙１－２はその他（大企業を含む）用です。）*

２.　国際共同研究の必要性、有効性及び実施体制

２－１. 国際共同研究の必要性、有効性

*国内企業との研究開発ではなく、相手国企業と国際共同研究開発を行う必要性、有効性について説明してください。また、相手国企業との共同研究開発を行うことの両者にとってのメリット（例：相手国企業の強み、シナジー効果によりプロジェクトが生み出す成果の質が向上する、実業化・事用化までの期間の短縮が期待される）等について具体的な根拠を添えて説明してください。*

２－２．国際共同研究開発の実施体制

（１）実施体制図（日本及び相手国側）

*本研究開発の実施体制図について、記載してください。共同提案の場合、他の共同提案先を含めて役割が分かるよう記入してください。*

*（記 載 例）*

「＊＊＊＊の研究開発」実施体制

ドイツ側

日本側

ＮＥＤＯ

ＮＮＥＤＯ

協定

ＡｉＦ

　　　　　助成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　助成

○○株式会社

・研究実施場所：

○○センター（場所）

・研究項目：

○○評価技術

○○株式会社

・研究実施場所：

○○センター（場所）

・研究項目：

○○評価技術

○○株式会社

・研究実施場所：

○○センター（場所）

・研究項目：

○○技術開発

共同研究契約

（委託・共同研究がある場合）

○○大学（場所）

○○研究所（場所）

○○大学（場所）

○○研究所（場所）

研究成果が共有される中小企業5社以上が含まれる企業グループ

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

研究成果が共有される中小企業5社以上が含まれる企業グループ

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

・○○株式会社（場所）

*（注）各機関毎に、研究実施場所、実施項目を記載すること*

***・企業の場合（委託先等は除く）は、下記の表に必要事項を記載してください。大企業、中小、ベンチャー企業の種別は公募要領内の定義を参照してください。会計監査人の設置については、会社法３３７条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載してください。***

【体制一覧】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | 従業員数 | 資本金 | 大企業･中小・ベンチャー企業の種別 | 会計監査人名 |
| *○○○株式会社* |  |  |  |  |
| *△△△株式会社* |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

*従業員数、資本金は応募時点を基準としてください。*

*会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入ください。*

（２）研究実施場所（日本及び相手国側）

*（記載例）*

*日本側：○○○○○株式会社○○研究所（○○県○○市）*

*相手国側：○○○○○株式会社○○研究所（○○州○○市等）*

（３）共同実施体制の役割分担

① 相手国企業の概要

*相手国企業の名称、所在地、担当者連絡先、主要既存事業、事業実績、経営状況の概要を記載してください。また、相手国企業の本事業実施ニーズ、実施意欲、参画予定人員、事業遂行能力、資金負担能力等に関し保有する情報を記載してください。記載にあたっては、相手国の実施体制に含まれている機関（企業・大学・研究機関等）別にそれぞれ記載してください。*

　② 相手国企業の選定理由

　*相手国企業を選定した理由を記載して下さい（関連分野の研究開発の実績、優秀な研究者等の参加等）。また、相手国側パートナー企業等と過去に共同研究を実施した実績や、取引実績等があれば記載してください。*

　③ 相手国企業との交渉状況

*相手国側パートナー企業等との共同研究契約等の締結時期（予定）について記載してください。*

　④ 相手国企業との研究開発項目における役割分担

　*日本側と相手国側の研究開発項目における役割分担を明確に記載してください。*

*（記載例）*

*①「○○○○○の研究開発（△△△△△の研究開発）」　（日本：○○株式会社）*

*［研　究　開　発　の　内　容］*

*②「×××××の研究開発（□□□□□の研究開発）」　（相手国：□□株式会社）*

*［研　究　開　発　の　内　容］*

　⑤ 相手国企業との知財の管理・運営方法

　*相手国企業との知財の管理・運営方法の概要を記載してください。*

（４）日本側の実施体制及び研究開発実績

① 研究開発責任者等情報

　　 研究開発責任者：　所属・役職 氏名　○○　○○

　　　　　　　　　　　 電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） ＦＡＸ　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

Email

主要研究員　：　 所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○

　　　　　　　　　　 電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） ＦＡＸ　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

 Email

　　 経理責任者　　：　所属　○○○○○部○○課 氏名　○○　○○

　　　　　　　　　　　 電話　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*（内線） ＦＡＸ　\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*

Email

*＊実施機関毎に記載して下さい。*

*＊研究開発責任者候補とは、助成事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者です。機関ごとに研究者代表を1名選任してください。（主要研究員が複数名の場合は、そのうち1名を研究開発責任者として選任してください。）*

*＊主要研究員とは、候補提案書の各研究開発項目の責任者又は統括責任者となる登録研究員です。*

*＊経理責任者とは、ＮＥＤＯ助成費用の使い方を管理する責任者です。経費発生調書の記載、発生経費に係る証拠書類の整理等を行います。*

② 研究開発責任者候補及び主要研究員候補研究経歴書（別添4）

*研究開発責任者候補及び主要研究員候補について、研究経歴書（別添4）に記入し提出してください。*

　③ 当該提案の研究開発実績

 *当該研究開発に関し、提案者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績及びその位置づけ等を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を遂行できる能力を有していることを、携わる全ての日本側研究機関（共同実施先及び委託先を含む）ごとにそれぞれ説明してください。*

　④ 当該提案に使用する予定の知的財産の保有状況

*本研究開発を進めるにあたって必要と考えられる主な知的財産の保有状況・使用状況について具体的に記載してください。出願番号、出願日、名称、概要を提案機関毎に記載してください。*

（例　示）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 出願番号 | 出願日 | 名称 | 概要 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

３．事業化・実用化計画、リスク対策

３－１. 事業化・実用化の実現可能性

（１）実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

*研究開発の成果が、どのように当該製品サービスに反映されるか簡潔に記載してください。*

（２）用途（販売予定先）

*当該製品・サービスの想定される販売ルート、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どの様な形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載してください。*

（３）事業化・実用化のスケジュール

*プロジェクト期間終了後の事業化・実用化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な実用化・事業化の段階に区分し、実用化・事業化の各段階が明瞭となるようなタイムスケジュール（線表）を記述してください（時間軸の設定は任意）。なお、プロジェクト実施期間中から事業化・実用化を開始する計画がある場合には、その年度から計画を記述してください。*

（４）市場規模（現状及び将来見通し）／売上見通し

*事業化・実用化を目指す製品・サービスに関する国内と海外の想定される市場規模の現状及び将来見通し（単位：百万円）を示し、それぞれの根拠も記載してください。記載にあたっては、提案者のみの市場規模にこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。*

*また、当該市場における提案者の製品・サービスに関する売上見通し・シェアの推移を示し、その根拠も記載してください。記述にあたっては、（３）事業化・実用化のスケジュールに呼応するようにしてください。〉*

（５）経済・社会的波及効果

*事業化・実用化を目指す製品・サービスの普及による経済・社会的波及効果を記載してください。*

３－２. 事業化・実用化におけるリスク対策

　*提案内容の事業化・実用化にあたって想定されるリスクを分類し、それに対する対応策を記載して下さい（リスクの例：競合他社の開発動向、技術変革、周辺特許、市場変動等）。*

４．その他

（１）類似の研究開発

*現に実施又は応募している公的資金による類似の研究開発がある場合には、その制度、研究開発テーマ及び内容を説明してください。ＮＥＤＯ以外からの公的資金等の受給がない場合には、「無し」と記載してください。*

*同一の研究課題での公的資金の重複受給は認められませんので、ご留意ください。また、記載以外の資金受給の事実が判明した場合には、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後であっても取り消し等を行うことがあります。*

（２）交付規程等に関する合意

**「***○○　○○（代表幹事・代表者名）***」、「***○○　○○（共同提案者・代表者名）***」***（共同提案の場合は全ての者について連名で記載のこと。単独提案の場合は２者目以降は削除ください。）*は本研究開発テーマ「*○○○○○*の開発」の提案に際し、「2019年度「国際研究開発／コファンド事業 ／日本－ドイツ研究開発協力事業」に係る公募要領」に記された事項に異存がないことを確認するとともに、助成金交付申請に際して、ＮＥＤＯから提示された課題設定型産業技術開発費助成金交付規程に異存がないことを確認した上で提案書を提出します。

また、本提案が採択された際は、提案書類の内容および採択審査結果（採択条件が付された場合は当該採択条件）、本事業の公募要領、課題設定型産業技術開発費助成金交付規程、交付決定通知書、その他ＮＥＤＯが別に定めるマニュアル等（課題設定型産業技術開発費助成金事務処理マニュアル、その他マニュアル・実施要領等）に従い、事業を遂行し、事業終了後は事後評価・追跡調査へ協力することに異存がないことを確認した上で、提案書を提出します。

**ＮＥＤＯから提示された公募要領、交付規程、本公募関連資料に記載された条件に基づいて交付を提案することに異存がない場合は、上記の文章を記載してください。**

*※ＮＥＤＯから提示された公募要領、交付規程、本公募関連資料に記載された条件に合意することが助成先選定の要件となります。これらについて疑義がある場合は、その内容を示す文書１部を添付して下さい。*

*（注）　「課題設定型産業技術開発費助成金交付規程」*

[*http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_koufukitei\_koufukitei.html*](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_koufukitei_koufukitei.html)

別添２

事業成果の広報活動について

提案者名称　*○会社、△大学　実施体制に含まれるすべての法人名を記入してください。*

助成事業の名称　　*○○の研究開発*

　本事業では、交付規程第９条第１項二十一号及び第２３条第２項に定める報道機関その他への成果の公開・発表等については、公募要領に従い、以下のとおりとします。

　①　本事業の成果、実用化・製品化に係る発表又は公開（取材対応、ニュースリリース、製品発表等）を実施する際は事前にＮＥＤＯに報告を行うものとする。特に記者会見・ニュースリリースについては事前準備等を鑑み原則公開の3週間前に報告を行うものとする。

　②　報告の方法は、文書によるものの他、電子媒体（電子メール等）による通知を認める。その際、ＮＥＤＯからの受領の連絡をもって履行されたものとする。

　③　公開内容についてＮＥＤＯと事業者は内容を調整・合意のもと、協力して効果的な情報発信に努めるものとする。

　④　前項目に基づき発表又は公開する場合において、特段の理由がある場合を除き、記載例を参考にしてその内容がＮＥＤＯ事業の成果として得られたものであることを明示する。なお、その場合には、ＮＥＤＯの了解を得てＮＥＤＯのシンボルマークを使用することができる。

【成果の発表又は公開する場合の記載例】

「この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（ＮＥＤＯ）の「国際研究開発／コファンド事業」において得られたものです。」

【事業化・製品化等について発表又は公開する場合の記載例】

「これは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（ＮＥＤＯ）の「国際研究開発／コファンド事業」において得られた成果を（一部）活用しています。」

別添３

**秘密**

非公開としたい提案内容

*別添１ 提案書において、採択審査委員に対して、非公開としたい内容がある場合には、本用紙にその内容を記入してください。非公開としたい内容がない場合には、「非公開としたい内容がない」旨を記載してください。本用紙に記載された内容は、採択審査委員には提示せず、ＮＥＤＯ内部で行う選定の判断にのみ使用します。*

*ただし、非公開の内容が多くなりますと、審査時での評価が低くなる恐れがありますので注意してください。*

整理番号　　*（ＮＥＤＯ にて記入しますので、空欄としてください）*

提案者名称　　*○会社、△大学　実施体制に含まれるすべての法人名を記入してください。*

助成事業の名称　　*○○の研究開発*

［ 添付資料： 提案書で非公開としたい具体的内容 ］

研究開発責任者候補　研究経歴書

別添４

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏　名 | ネド　　ジロウ根戸　次郎 | 生年（西暦） | １９７３　年 |
| e-Rad所属研究機関コード＊1（10桁） | ○○○○○○○○○○ | e-Rad研究者番号＊1（8桁） | ○○○○○○○○ |
| ①　所属・部署名・役職名 |
| ○○○○大学　大学院○○研究科○○専攻　准教授 |
| ②　最終学歴・学位 |
| 　　　　〔 最終学歴 〕 ○○○○大学工学部電子情報専攻修士課程修了 |
| 　　　　〔 学　　位 〕 工学修士 |
| 　　　　〔学位取得年〕 20○○年(西暦） |
| ③　研究開発経歴・受賞歴 |
| （記入例）20○○－20○○年　　○○の研究開発20○○年　　○○の研究開発で○学会○賞受賞 |
| ④　本技術開発に関連する最近５年間の成果等（記入例）〔論文〕1) 根戸次郎他、“○○を用いた○○○○の研究”, ○○学会誌, ○巻○号, p. ○, 20○○〔研究発表〕1) J.Nedo.et.al, “○○○○○○”, 日本○○学会　　講演番号○○、20○○.〔特許等〕 1. 根戸次郎他、“○○における○○の技術開発 “、特開平○○-○○○○○○
 |
| ⑦　本技術開発体制における役割 |
| （記入例）責任者となる技術開発項目「○○○○○○」（技術開発項目の責任者でない場合は記載不要です。）本技術開発テーマ「○○○○の開発」おいて、専門分野である△△△△と××××の研究開発実績を基に解析と□□□□の目標達成のための開発に従事する。 |

（研究開発責任者候補1名毎に1ページ以内で記載してください。）

＊1　提案者の主要研究員候補含め、不明もしくは保有していない場合は省略可。

* 研究開発責任者候補とは、助成事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者です。機関ごとに研究者代表を1名選任してください。（主要研究員が複数名の場合は、そのうち1名を研究開発責任者として選任してください。）
* 取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のために利用するとともに、情報の一部（氏名、所属、生年、性別）が、技術開発テーマ名および助成金額等の情報と合わせて、ｅ－Ｒａｄへ提供または政府研究開発データベース作成のために利用されます。
* 特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料の作成または学術研究の目的のため等に利用することがあります。
* ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏　名 | ネド　　ジロウ根戸　次郎 | 生年（西暦） | １９７３　年 |
| e-Rad所属研究機関コード＊1（10桁） | ○○○○○○○○○○ | e-Rad研究者番号＊1（8桁） | ○○○○○○○○ |
| ①　所属・部署名・役職名 |
| ○○○○大学　大学院○○研究科○○専攻　准教授 |
| ②　最終学歴・学位 |
| 　　　　〔 最終学歴 〕 ○○○○大学工学部電子情報専攻修士課程修了 |
| 　　　　〔 学　　位 〕 工学修士 |
| 　　　　〔学位取得年〕 20○○年(西暦） |
| ③　研究開発経歴・受賞歴 |
| （記入例）20○○－20○○年　　○○の研究開発20○○年　　○○の研究開発で○学会○賞受賞 |
| ④　本技術開発に関連する最近５年間の成果等（記入例）〔論文〕1) 根戸次郎他、“○○を用いた○○○○の研究”, ○○学会誌, ○巻○号, p. ○, 20○○〔研究発表〕1) J.Nedo.et.al, “○○○○○○”, 日本○○学会　　講演番号○○、20○○.〔特許等〕 1. 根戸次郎他、“○○における○○の技術開発 “、特開平○○-○○○○○○
 |
| ⑦　本技術開発体制における役割 |
| （記入例）責任者となる技術開発項目「○○○○○○」（技術開発項目の責任者でない場合は記載不要です。）本技術開発テーマ「○○○○の開発」おいて、専門分野である△△△△と××××の研究開発実績を基に解析と□□□□の目標達成のための開発に従事する。 |

主要研究員候補　研究経歴書

（主要研究員候補1名毎に1ページ以内で記載してください。）

＊1　提案者の主要研究員候補含め、不明もしくは保有していない場合は省略可。

* 主要研究員候補とは、提案書の各研究開発項目の責任者又は統括責任者となる登録研究員です。
* 取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のために利用するとともに、情報の一部（氏名、所属、生年、性別）が、技術開発テーマ名および助成金額等の情報と合わせて、ｅ－Ｒａｄへ提供または政府研究開発データベース作成のために利用されます。
* 特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料の作成または学術研究の目的のため等に利用することがあります。
* ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

別添５

―利害関係の確認について―

* ＮＥＤＯは、採択審査にあたり、大学・研究機関・企業等の外部専門家による採択審査委員会を開催します。この採択審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た提案情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* また、ＮＥＤＯは、採択審査委員の選定段階で利害関係者を排除すべく細心の注意を払い、採択審査委員本人にも事前に確認を求め、利害関係者による審査を排除しています。
	+ 上記を補完するため、提案者の皆さまにも利害関係に関する情報の提供をお願いいたします。

|  |
| --- |
| 　＜提案者が想定する利害関係者＞　利害関係者に該当する者の所属、氏名を記載してください。（例）　なし　　＜ありの場合＞　 ○○大学 △△学部　□□学科 ○○　○○氏＊実施体制に入るすべての法人（委託先、共同研究先を含む）が対象です。＊各法人分をまとめ、１ページに記載してください。 |

「利害関係者」とは、下記３項目のいずれかに該当する方を言います。

心あたりのある方があれば記載してください。**ない場合は「なし」と記載してください。**

　①提案書に氏名が記載された研究開発責任者、主要研究員の四親等以内の血族、三親等以内の姻族、同居の親族のうち、本提案技術に関連すると思われる学識経験者

　②提案する課題と直接的な競合関係にあると思われる学識経験者

　③提案テーマの実施体制に入っていないが、実質的な協力関係にある学識経験者

＊学識経験者：[学問](http://kotobank.jp/word/%E5%AD%A6%E5%95%8F)上の高い[知識](http://kotobank.jp/word/%E7%9F%A5%E8%AD%98)を持ち、大学・公的な研究開発機関に所属する者

提案書類受理票（ＮＥＤＯ 控）

別添６

提案書類受理番号

「国際研究開発／コファンド事業／日本－ドイツ研究開発協力事業(CORNET)」に対する提案書

研究開発テーマ

　「*○○○○○○○○○○*の研究開発」

　　年　　月　　日

提案者名：*○○○○○株式会社*

受領書類：　□　にチェックを入れてください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 書類名 |  | 資料（様式） | 提出部数 |
| 1 | 提案書 | □ | 別添1 | 8部（正1部、副7部） |
| 2 | 事業成果の広報活動について | □ | 別添2 | 1部 |
| 3 | 非公開としたい提案内容 | □ | 別添3 | 1部 |
| 4 | 研究経歴書 | □ | 別添4 | 8部 |
| 5 | 利害関係の確認について | □ | 別添5 | 1部 |
| 6 | 費用積算表（年度毎） | □ | 別紙1 | 8部 |
| 7 | 日独共通提出フォーム | □ | 別紙2 | 8部（正1部、副7部） |
| 8 | 会社概要（パンフレット等） | □ | 指定なし | 8部 |
| 9 | 直近の事業報告書及び直近３年分の財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書） | □ | 指定なし | 8部 |
| 10 | e-Rad応募基本情報 | □ | PDFファイル | 1部（全頁の写し） |
| 11 | 電子ファイル（No.1 別添1（Word）、No.6 別紙1（Excel）、No. 7 別紙2（PDF）が対象） | □ | CD-R | 1枚 |
| 12 | 提案書類受理票 | □ | 別添6 | 1部 |

割　　印

-----------切り取り-----------　　　　　　　　　-----------切り取り-----------

提案書類受理番号

「国際研究開発／コファンド事業／日本－ドイツ研究開発協力事業(CORNET)」に対する提案書

研究開発テーマ「*○○○○○○○○○○*の研究開発」

提案書類受理票（提案者控）

　年　月　日

機関名　*○○○○○株式会社*

　担当者名  *○○○○○* 殿

 貴殿から提出された標記提案書類を受理いたしました。

 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　国際部　　　　　　　　　　　　　　　印